



白南風小学校 学校だより

令和6年1月9日号

しらはえっ子

校長 三代 直正

やさしいっぱいの子 やる気いっぱいの子 元気いっぱいの子

今年も よろしくお願ひいたします

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

17日間の冬休みが終わり子どもたちが元気に登校してきました。

3学期は、学年を締めくくる大切な時期になります。始業式では、その意気込みを5年生の代表児童が発表しました。

2学期がんばったこと3学期がんばりたいこと

5年

私は、2学期に成長できたことが二つあります。

一つ目は、委員会への取組です。私は運営委員会の仕事を頑張ることができました。運動会の時には、行進で旗を持つ役へ立候補しました。私は不安だったけどチャレンジしてみたいと思いました。本番の日とても緊張してソワソワし、旗を指で持つのも痛かったけど、堂々と胸を張って歩き、すがすがしい気分でした。チャレンジして良かったな、頑張ったなと心の中で思いました。

二つ目は生活面です。私は、今までハテナをお母さんから声をかけられて気付いていました。それではいけないと思い、前の日に準備するようになりました。これからも習慣にして自分の事は自分でできるように自立していくように心がけたいです。

冬休みが終わりました。今日からいよいよ5年生最後の学期です。私は、3学期から失敗をおそれずにたくさんチャレンジし、6年生に向けて張り切っていこうと思います。

新しい年、新しい学期のはじまりです。子どもたちがもっている「がんばるぞ!!」という気持ちを白南風小学校の全職員で大切にしていきたいと思います。ご家庭でもご支援の程よろしくお願ひいたします。

森保監督の控室

平田 有子 (上五島支局)

記者の 目

新上五島町で8月、サッカー日本代表の森保一監督によるサッカー教室と講演会(町教育委員会主催)があり、多くの子どもたちが参加した。森保監督が教えてくれたものはサッカーの技術だけではなく、世界で活躍する森保監督が直接指導する貴重な教室で、子どもたちはテクニックを学び、講演会では「ミスを恐れずチャレンジして」とエールをもらった。聴講した誰もが笑顔になった。

こぼれ話を一つ。同教室終了後に森保監督は、控室がある近くの体育館へ。玄関に入り、「ほうきを借りたい」。玄関に少しだけ落ちたグラウンドの土を気にして。町教委企画幹が代わって掃除をしていると、森保監督は外に出て行ってスパイクの土を落としたり、棚に並んだ数々のスリッパをそろえたり。控室も使用前以上に整えられていたらしい。

サッカー日本代表の試合後のロッカールームは美しいと、世界でも評判だが、「こんな小さな町でもそうしてくれるんだ」と職員らは感動。おごらず、いつだって丁寧。気さくな人柄。「みんなファンになりますよ」と。町教委はこの話を子どもたちに伝え広めている。森保監督の置き土産は、町の宝になった。

私からは、2023.11.9長崎新聞に掲載された記事「森保監督の控室」を題材に子供たちに話をしました。長崎県出身サッカー日本代表の森保一監督が、日本西端の離島、上五島に子供のサッカー教室のために来島するというだけでも驚きでしたが、控室でのおごらず、丁寧。気さくな立ち居振る舞いに感動したこと。合わせて、世界で絶賛されているサッカー日本代表の試合後のロッカールーム(控室)の美しさ(写真)も紹介しました。このようなことが、最近日本代表が強くなっている理由の一つではないかと投げかけました。

3学期は、各学年の学習や生活のまとめをする大切な学期です。一つ一つ振り返りを丁寧にして、次の学年へつなげる力をつけてほしいと思っています。